

1 審議会名	上田市川西公民館運営審議会
2 日 時	令和5年3月22日(水)
3 会 場	川西公民館 第一学習室
4 参 加 者	清水広好会長、堀内重光副会長、早川利恵委員、安田絵理子委員、酒井和彦委員
5 市側出席者	大森敏弘館長、菊池正志次長
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍 聴 者	1人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和5年3月23日

協 議 事 項 等

1 協議事項
(1) 令和4年度川西公民館事業等の実績について
ア 公民館事業の実施状況
イ 公民館施設の利用状況 (事務局) 2件一括 説明 (委員) 質疑なし
(2) 令和5年度川西公民館事業の事業について
ア 公民館の基本的な考え方
イ 公民館事業の予定 (事務局) 2件一括 説明
・通学合宿については、やり方を変えながら子供たちのためになるような企画を考えている。これまでの方法では、ボランティアの人材を確保することが難しい。令和5年度は夏休み期間の体験型講座を検討したい。
(委員)・子供たちにとっては必要な体験ができる行事であると思うが、今後についてはコロナの状況を見ながら元に戻る可能性はあるのか。
(事務局)・分館役員の見直しの問題も見極めたいうでの判断としたい。今後は条件を整理したうえで、学校や地域の方と相談しながら進めていきたい。
(委員)・長野大学は小学校の教員免許が取得できる体制になってきているので、協力しようとする学生もいると思う。
(事務局)・コロナの5類への移行報道前だが、大学に確認したところ難しいとの回答だったが、できるだけ進めていきたい。合宿中の食事を担当していただいていた団体が高齢化を理由に活動を終了することになり、通学合宿でのサポートも難しい状況になった。他に、青少年育成推進指導員にサポートをお願いしていたが、令和5年で自治会選出がなくなる状況にある。地元の方のサポートが不可欠であるが、体制を再度見直さないと実施が難しいと判断した。今後については、公運審や地元の方の意見も聞きながら判断していきたい。
(委員)・泊りの事業は大変であったと思うが、子どもたちへの刺激にもなっていた。コロナをはじめ、高齢化の問題など二重三重にハードルが上がってきた印象を受けた。今年1年の公民館活動の状況をみて、最適な判断をしていきたいと思う。

(3) 市が自治会に依頼する各種委員の見直しについて

(事務局)・事務局から説明

(委員)・地域の高齢化により自治会の役は頼んでもお願いできなくなっている傾向にあり、自治会長からは少しでも労力を減らしたいとの希望だと思う。公民館の青少年育成活動として、学校だけではなく地域で子供の成長と一緒に支えていくという働きがあると思うが、見直しの良い機会ではあると思う。

(4) 使用料算定に係る受益者負担のあり方に関する基本方針について

(事務局)・事務局から説明

(委員)・公民館の利用料金は一律か。

(事務局)・各公民館、部屋ごとに違う。

(委員)・住民説明会の対象者は誰か。

(事務局)・誰でも参加できるので委員の皆さんにも参加していただきたい。川西公民館でも開催予定である。

(委員)・減免制度は残すが、冷暖房費は負担をしてもらうという方向は決まっているのか。

(事務局)・市の案であるが、パブリックコメントの意見を見ると冷暖房費含めて減免して欲しいという意見がある。

(委員)・川西公民館の冷暖房のエネルギー源は何か

(事務局)・電気だが太陽光発電は設置している。

(委員)・料金の負担は直接利用者に関わってくることなので、慎重に議論を進めていくべきだと思う。金が掛かるなら使わないという人や、負担が増えるとますます講座参加者が減ると思う。講師もボランティアのような感じなのに、冷暖房費の負担が増えるときつい話だと思う。

・部屋の中の暖房を部分的に使うことができないのか。

・昼間と夜間の金額を変えとか、温度設定を変えたら料金が変わるとか、細かい利用設定が必要ではないか。

(事務局)・なかなか難しい課題だと思う。

(5) その他

特に意見等なし